開放イベントでの講演について

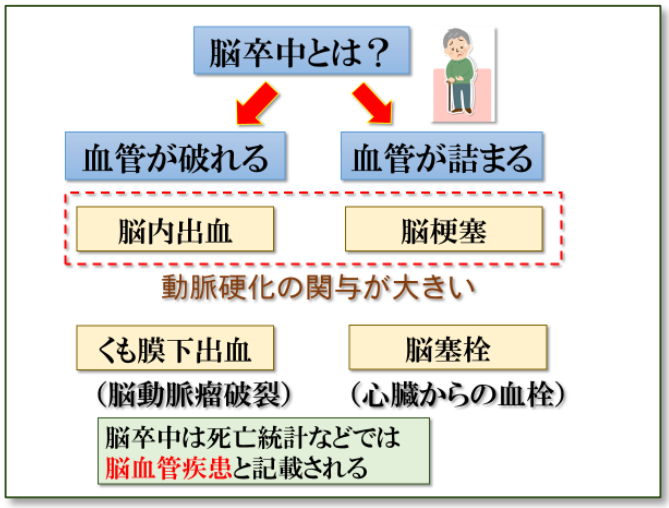
N01

平成30年10月9日

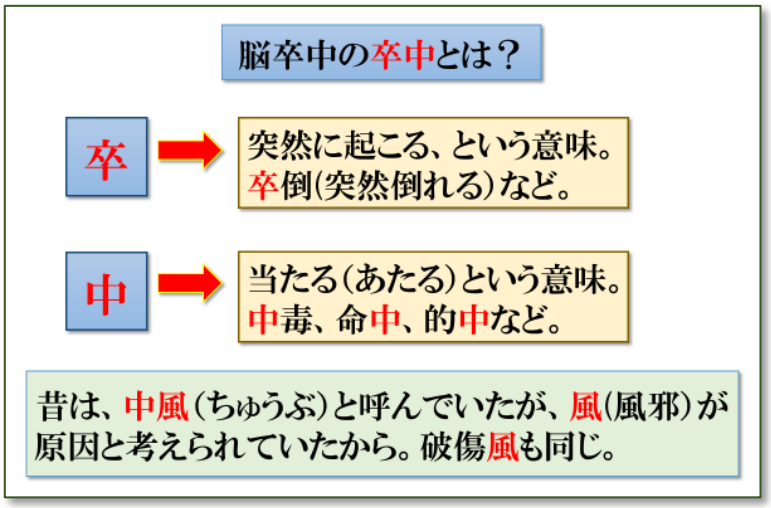
文責　内科　大塚伸昭

平成30年11月4日のイベントで講演をする事になりました。今回のタイトルは「脳卒中や心筋梗塞の予防と治療」として、約30分を予定しています。

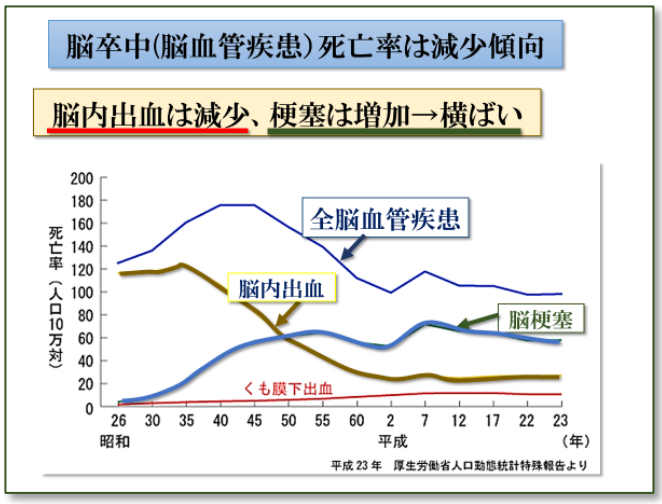
いつものようにイラストなどを中心にわかりやすく解説します。スライド内容から抜粋して以下プリントアウトしてみました。ネタバレになるかもしれませんが、講演に参加できない人もいますし、現在スライド作成中でスライド内容が変更になる可能性もありますので呈示してみました。



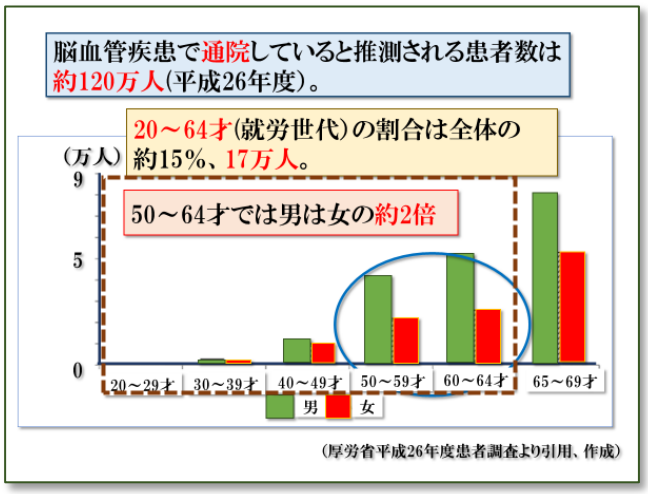
↑スライド3枚目より



↑スライド4枚目より

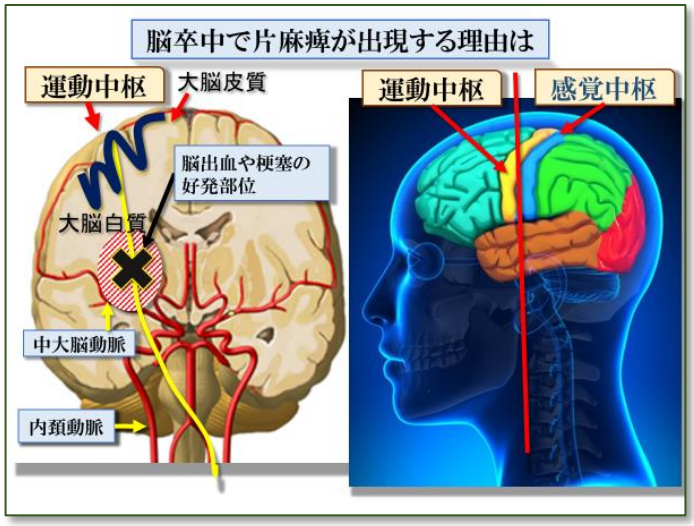


↑スライド7枚目より



↑スライド8枚目より

3頁にも記載していますが、掲示板に掲示して解説しているプリント(3枚)は私の HP「大塚先生の診察室パート2」で PDF の形で見ることが出来ます。HP は大塚先生の診察室パート2と入力してヤフーなどで検索すれば出ます。ドメイン名は http://nobuaki.biz/。検索で出ない場合(まず、無いはずですが)は左記を直接アドレスバーに記載すれば出ます。尚、HP には全く広告を入れていません。営利目的でやっているわけでは無く、医療従事者、一般の皆さんへ医学の基礎知識を普及させたいという気持ちからやっています(カッコ良い！)。また、他の人にわかりやすく教えるために医学書を読破したりネットで徹底的に調べる事が、自分自身の勉強にもなるので結構楽しんでやってます。今迄の講演内容についてはパワーポイントがあればスライド形式で見ることが出来ます。自費出版本も無料でダウンロード出来ます。これらの資料は総て印刷して活用できます。著作権は一切行使しませんので安心して活用して下さい。

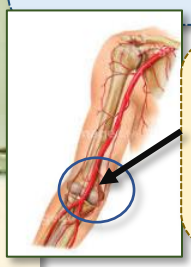


↑スライド19枚目

↑スライド25枚目

呈示したスライドは実際にはスライドショーの形で供覧しますので、動きのあるスライドになっています。私はスライド作成時にはできるだけ文字を少なく、イラスト、動画を利用して動きを演出して飽きさせない講演をするように心がけています。西都の大塚病院勤務時代に看護学校の生徒の講義を何度か担当しましたが、寝ている学生を見て腹立たしかった経験などから学習しました。しかし、かく言う私も医学部学生時代にはスライドが始まって教室が暗くなると、つい寝ていたこともあるので同じ穴のムジナといったところでしょうか（笑）。

左写真は若かりし頃、北九州厚生年金病院循環器内科で上腕動脈切開によるソーンズ法の心臓カテーテル研修を終了して、宮崎大学の心臓カテーテル検査室で手技を披露しているところ。



上腕動脈、静脈を切開してカテーテルを挿入する。カテーテル終了後は動静脈を縫合する。カテーテル手技が上手くいかないと、隣の指導医師から検査台の下で足を軽く蹴られていた。命を預かる検査だから当然だが。

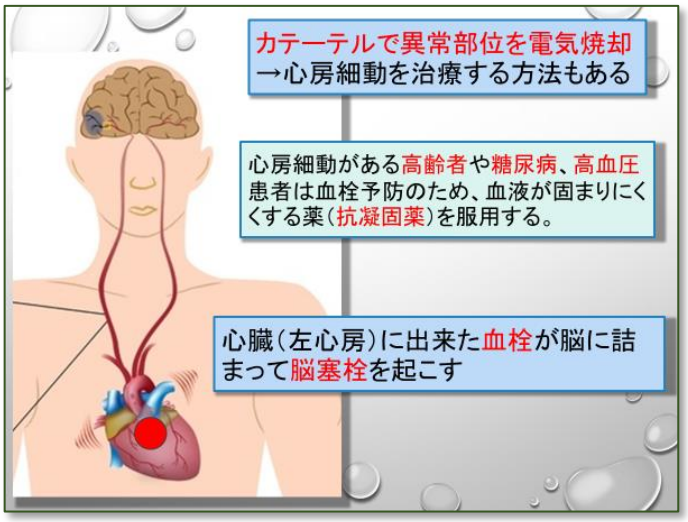
（現在はこの手技は行われていない）

この研修の前に九州大学医学部循環器内科にも勤務したが当時のN教授に毎週開かれるカンファレンスで厳しい指導を受けた。

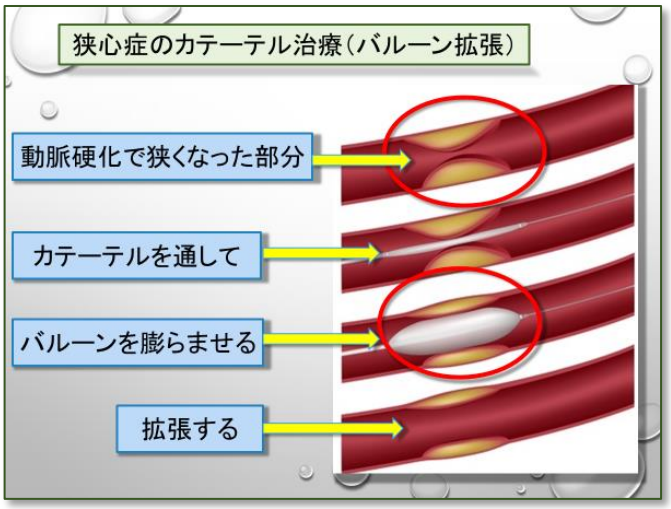
↑スライド52枚目

左写真は、若い人は知らないと思うが、お笑いタレントの鳳啓介（おおとりけいすけ）さんが宮崎に来演で訪れた時に肺動脈塞栓症に罹患して大学病院に緊急搬送された時の写真。私が中心になってカテーテル治療を行い成功して止血時にピースサインを出しているのが鳳啓介さん。周りにいるのは第一内科の看護師さん達。鳳さんの奥さんは京唄子さんで2人で良くテレビに出ていた。

開放イベントでの講演スライドの一部呈示（続き）

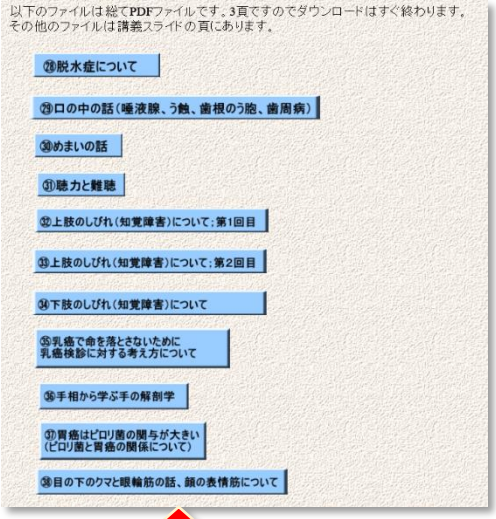


↑スライド40枚目



↑スライド50枚目

下写真はHPのトップページだが、最近掲示板に記載したプリント3枚の内容もトップページからPDFで見ることが出来る。その他講義、講演したスライドなどは講義スライドをクリックすれば総て見ることが出来る。



トップページの下の部分。青四角をクリックすれば最近の掲示板記載の内容を見ることが出来る。

富吉共立病院のHPのトップページの黒四角塗りつぶし、白文字の「大塚先生の診察室」をクリックしても「大塚先生の診察室パート2」にリンク出来る。頻繁に病院のHPというものは更新して情報発信していかないと現在の社会状況に適応できないと思うが、業者がすると結構な額になる。私の HP は更新しても無料なので（笑）週1回くらいは更新している。

余談だが、黒塗り潰しの白文字は少々ダサいと思うが、、、。他の色合いも含めて一寸センス不足な感じ。